

基本理念

重い障害があっても“何かが出来る”一人で出来なかつたら、“みんなで助け合う”そして多くの方々との交流を大切に、地域社会の中に生活の基盤を築いていきたい。



編集・発行
社会福祉法人 緑の会 いずみ園
〒277-0042
千葉県柏市逆井341
TEL: 04-7176-8085 (代)
FAX: 04-7176-8087
e-mail: front@izumien.jp

新利用者紹介



島村 舞さん
(しまむら まい)

市川市大野町在住
船橋夏見特別支援学校高等部
平成29年3月卒業



吉田 喜成さん
(よしだ いっせい)

柏市花野井在住
松戸特別支援学校高等部
平成29年3月卒業

→お客様からお祝いの言葉を頂いて
います。



新利用者を迎える会

平成二十九年四月三日

麗らかな天気のもと、平成二十九年年度の『新利用者を迎える会』が、多くのお客様をお迎えし行われました。
今年度は左記のように、2名の利用者が新たにいずみ園の仲間として加わりました。
お二人とも、環境が全く違うところで

緊張されたと思いますが、その日は主人公、そして華々しい社会人デビューでしたね。

来場したたくさんの方々に祝福されて、たくさんさんの優しい先輩に囲まれて素晴らしいスタートを切ることができたと思います。一緒にいずみ園生活を楽しみましょう。

←レインボー号の大きな鍵を作成し、贈呈式を本格的に行いました！



新しい送迎車がやってきました！日本財団様からの助成でニッサンキャラバンを頂きました。利用者さんからの提案で、名前は「レインボー号」となりました。活躍してくれることでしょうか！

レインボー号

感謝

日本財団様 助成 送迎車贈呈式

←皆で感謝の意を込めて写真撮影をしました。

共生社会に向けた 保護者との懇談会

「もしも・・・の安心準備
～強く生きるために、知っとく(得)～」

講師 緑の会顧問弁護士 富田千鶴氏



↑講師（一番左）のお話熱心に耳を傾けています。

平成二十九年五月二十
六日（金）、講師をお招き
し、成年後見制度や公正証
書遺言等についてお話し
しました。

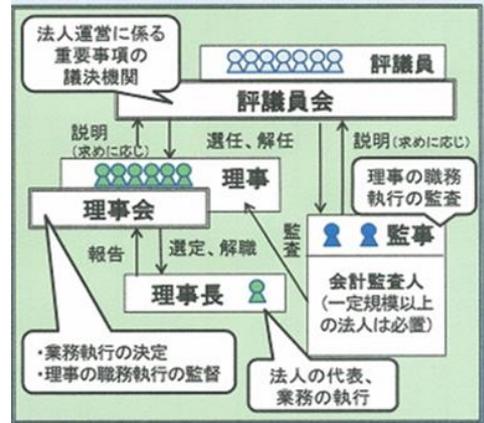
もしものときに具体的
にどんなことが必要にな
るのか、もしもが起こって
からでは、実行されるまで
にタイムラグができてし
まったり、ご自分の意思に
反したことが実行されて
しまったりするかもしれ
ません。誰であっても自分
が亡くなった後のことは
気になります。参加され
方はお話を熱心に聴かれ、
座談会でも疑問の点が
次々に出されました。今
も保護者の方の将来への
不安を安心に変えていく
支えとなるような会とし
て続けていければと考
えています。

平成 29 年 4 月 1 日施行された新社会福祉法下
の、「経営組織のガバナンス強化」を目的とした、役員
の改選が評議員会（6/23）にて承認され、その直後の
新役員で理事長が互選されました。

ここで、社会福祉法人緑の会の役員・評議員をご紹介いたします。

- 【役員】**
- 理事長 滝本二三江
 - 理事 関博之
 - 山崎美智子
 - 松永光代
 - 渡邊勝蔵 (事務長)
 - 鳥海和子
 - 山崎裕介 (施設長)
 - 水林敬博
 - 田口仁

参考：社会福祉法人の経営組織のガバナンス強化



【評議員】

- 水野治太郎
- 原隆志
- 西脇理知子
- 横尾一徳

【厚生労働省資料より抜粋】

新社会福祉法のもと、平成 29 年 6 月 23 日の評議員会で、
平成 28 年度決算が承認されましたので、ご報告いたします。

平成 28 年度 決算報告

平成 29 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表

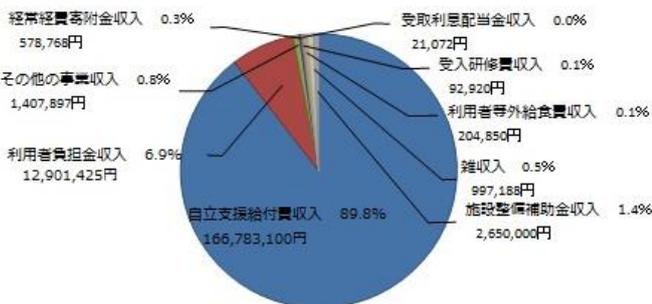
資産の部		負債の部	
流動資産	184,768,109	流動負債	18,946,194
固定資産	535,023,754	固定負債	13,220,000
基本財産	420,412,798	負債の部合計	32,166,194
建物・構築物	162,120	純資産の部	
機械及び装置	21,524,300		
車輜・備品等	10,661,712	基本金	32,985,178
ソフトウェア	247,940	国庫補助金等特別積立金	279,031,074
積立金等	78,730,061	その他の積立金	78,730,061
その他の固定資産	60,390	次期繰越し活動収支差額	296,879,356
		純資産の部合計	687,625,669
資産の部合計	719,791,863	負債及び純資産の部合計	719,791,863

(単位：円)

事業	サービス活動増減の部	収入	184,268,378
		支出	176,493,036
活動	サービス活動外増減の部	収入	318,842
		支出	117,039
計	経常増減差額		7,977,145
	特別増減の部	収入	2,650,000
算		支出	2,650,001
	当期活動増減差額		△ 1
書	前期繰越活動増減差額		289,131,400
	当期末繰越活動増減差額		297,108,544
	その他積立金取崩額		0
	その他積立金積立額		229,188
	次期繰越活動増減差額		296,879,356

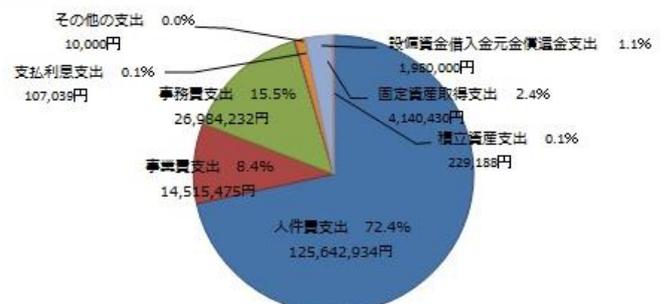
平成 28 年度資金収支決算の収入内訳

185,637,220円



平成 28 年度資金収支決算の支出内訳

173,609,298円



梅雨の時期、天候も心配されましたが、晴れ男・晴れ女の方多かったのでしょうか。日差しも垣間見える中、入居者、保護者、日頃ご協力頂いているボランティア総勢30名を超える人が集まり「ホームパーティー」を行う事が出来ました。手作りの美味しいそうな料理が目の前に広がり自然と笑顔があふれ、笑顔とご馳走でお腹も満たされたのではないのでしょうか。



6/11 増尾台ウイズホーム



4周年ホームパーティー



↑両手に花でお酒もグイグイ進みます♪

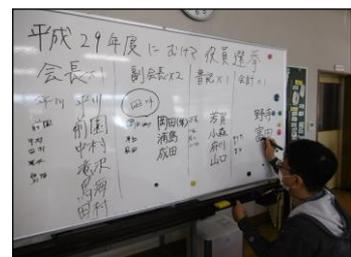
↓テラス席。外の風が気持ち良い♪



↑手作りの料理に舌づつみ♪

仲間の会役員選挙

平成二十九年三月十六日(木)、いずみ園利用者の自治会である「仲間の会役員選挙」が行われました。毎年ですが立候補や他薦があり、票が読み上げられる度に喜びの声や、悔しい声などが聞かれ大いに盛り上がりがあります。行事でのあいさつや、活動の企画など大変ですが、いずみ園利用者の代表として頑張ってください！



→役員候補ボード。





増尾ジェンヌの会様
による

ハンドトリートメント

7月11日(火)にハンドトリートメントを行いました。ベビーオイルを使用いただき、お部屋にはラベンダーのほのかな香りが漂い、皆さんとても気持ちよさそうでした♪素敵な香りの中でのハンドマッサージは、時間がゆったり過ぎ・・・なかには、リラックス効果で、眠たくなってしまいう利用者もいるほどでした！

毎回 30 名ほどの利用者さんが申し込みをされ、いずみ園の人気のイベントの一つになっています。増尾ジェンヌの会の皆さま、いつも楽しみにしていますので、これからもどうぞよろしくお願ひします。



気持ち良い！



『いずみ園 25 周年 記念講演会』

のお知らせ

日時：平成 29 年 10 月 2 日 (月)
受付 10:00 開演 10:30

講師：野沢 和弘 氏 (毎日新聞論説委員)

演題：「障害者の人権
～相模原事件から考える～」

場所：いずみ園 (柏市逆井 3 4 1)

※駐車場はございますが、できるだけお乗り合わせの上お越し下さい。

お申し込み：事前に 04-7176-8085 いずみ園までお電話
ください。

締め切り：平成 29 年 9 月 25 日 (月)

(講師プロフィール) 1983 年毎日新聞社入社、津支局、中部報道部を経て 92 年から東京本社社会部。厚生省担当、児童虐待取材班、障害者虐待取材班などを担当。同科学環境部副部長、社会部副部長、夕刊編集部長を経て現在は論説委員。著書に「あの夜、君が泣いたわけ」(中央法規)、「条例のある街」(ぶどう社)、「わかりやすさの本質」(NHK出版)、「なぜ人は虐待するのか」(廃墟の中の希望) (Sプランニング)、「発達障害とメディア」(現代人文社) など。



スタッフ募集

いずみ園勤務 (夜勤4回/月)

生活支援員：常勤

(8:30-17:00)

増尾台ウィズホーム (グループホーム) 勤務

生活支援員 (夜勤専従)：常勤or非常勤

(15:00-翌朝9:00)

「いずみ園」は車いす利用の障害のある方の通所施設

(定員 40 名) で、「増尾台ウィズホーム」は通所している障害のある方が保護者から自立して暮らしているグループホーム (8 名)、ショートステイ (2 名) です。

詳細は下記ホームページの求人情報をご覧ください。

<http://www.izumien.jp/recruitment.html>

ボランティア募集

いずみ園では、利用者と共に作業、外出、

移動、食事介助して下さる方のご協力をお待ちしています！！

住所：〒277-0042 柏市逆井 3 4 1 番地

電話：04-7176-8085 (代)

Email：front@izumien.jp

時間：9 時 30 分～15 時



厳しい暑さが続いています、皆さんどうお過ごしですか？私は毎日汗をダラダラ流しながらお仕事を頑張っています。

挨拶が遅れました、編集後記を書かせて頂いている施設長の山崎です。私は七月から施設長になったばかりで右も左もわかりません。ただ、十年間いずみ園の現場で培ったことを生かし障害を持った方たちとの関わりの楽しさを伝え、その輪を広げたいと色々と考えていますので今後もしずみ園にご理解、ご協力をお願い致します。(山崎)

編集後記